

命を守る

花笠小学校

横住 よこずみ

侑巳 ゆい 翔 と

みなさんは土砂災害にあつたことがあるだろうか。土砂災害は、大きく分けてろつあり、かけくずれ、地すべり、土石流がある。まず、かけくずれは、かけや急な斜面で起こり、雨水がしみこんで地面がゆるみ突然くずれ落ちるそして、くずれるスピードが速く起きてからでは逃げられない。そして、地すべりは、広い範囲にわたつてゆつくり動き出す現象で

ゆるやかな斜面でもくずれる。最後に土石流は、山や谷の石や土砂が大雨でいきなり流れ落ちる現象で、速い時は時速四十キロメートルものスピードでおそつてきて、いっしんで家を押し流す威力がある。地すべりや土石流で根こそぎ倒された木が川をせき止めて水害になることもある。そんな土砂災害にも前ぶれがある。泥水が山から出たり、土のおいがしたり、山から音が聞こえたりしたら、それが土砂災害の前ぶれである。前ぶれだと

思、たら、すぐに逃げるのが大切である。
そのためには、自分の身を守るためにいろいろ
な備えを知っておいたり、しておいたりす
ることが大切である。
まずは、ハザードマップを見ておくことであ
る。避難場所はどこか、危険な場所はどこ
かを知ることができるからである。例えば、
僕の家近くのハザードマップを見ると、土
砂災害の警戒区域が広い。僕の家は警戒区域
外だが、それを超えてくるかもしれない。だ
から、前ぶれがあつたら、すぐに避難しよう
と思う。ハザードマップを見ると、僕の家
地区の避難場所は自宅の二階なので、すぐに
自分の家の二階に逃げようと思う。
次は、避難のタイミングを知ることである。
土砂災害には警戒レベルというのがある。災
害発生のおそれの高まりに応じて、住民のと
るべき行動などが決められている。警戒レ
ベルは一から五まであり、レベル一は「災害
への心構えを高める」レベル二は「避難に備え

自らの避難行動を確認「レベル三は「危険な場所から高齢者等は避難」レベル四は「危険な場所から全員避難」レベル五は「命の危険。直ちに安全確保！」である。避難すべきダイミソグは「レベル三以上です。レベル三は、高齢者等は避難となっているが、全員避難する準備をしておく必要がある。レベルに達する前に準備をし、避難できるようにしておくことが大切である。

また、避難をする時にすぐに持ち出せる防災リュックや靴の準備も必要だと感じた。僕の防災リュックは寝る部屋に置いてあるが、定期的に中身を確認しておきたい。また、もしも家族と話しておこうと思った。僕は、今回土砂災害について調べて、「自分の命は自分で守る」ことの大切さを改めて感じた。